

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

京都市立南大内小学校（京都府）

【GIGA×指導の工夫・改善】 他者参照し自分の考えの形成に役立てる

<考察>

GIGA端末を使用し、調べ学習の時間に検索サイトで自分が疑問に思ったことを調べ、その中から必要な情報を選択し活用するようになった結果、他の教科でもよく見られるようになった。また、学習支援ソフトでノートをもったり自分の考えを記入したりする場合に、画面共有をして、どの児童にも見たい友達のノートを見られるようにした。画面共有し他者参照をすることの良さは、自分の考えと友達の考えを比べられるところや、新たな考えを知ることによってそれを自分の考えにも生かすことができるということだと考える。考えをまとめる時どのように書いたら良いのか分からない児童は、友達の考えやより見やすいノートのまとめ方を参考にして、自分のノートを作ることができる。

つまり、他者参照することは、自分の考えを生み出すきっかけになったり、考えをより明確にしたりすることができる情報活用の一つの方法だと考える。

指導者側は提出されたものに必ず目を通し、良いと思った意見やノートについては、次の時間に子どもたちに伝え、よりよいものを目指すことができる手がかりを与えるようにした。

社会科「これからの工業生産とわたしたち」のノートを共有
より見やすいノートづくりを

総合的な学習「仕事に対するイメージ」についてそれぞれの考えを共有